

3/17 自治フォーラム—仕事とハウジングのある包容力あるまち大阪

3/17 今日の自治フォーラムは、興味深い指摘。働きかた改革、就労支援の課題を斬新な視点で整理。

A ダッシュ西岡正次さんのMC。

五石先生—日本の生産性が低すぎる＝人的資本投資の水準が低すぎる＝個人所得も低下。生活保護も長期化。

このままいけば、OECD 最下位の労働生産性。厚労省の資料でも危機感。万博やカジノで成長なんてずれた政策はダメとばっさり。

民主党が提案したパーソナルサポートは、雇用、就労、もっと体系的だったが、福祉に矮小化。

水内先生—仕事とハウジングのある包容力ある都市、次世代大阪のコンセプト提案。大阪に最後のお金持ってきた、チャンスを求めて来た人、以前住んだことがある、知人がいる、が生活保護未受給だが困窮者には多い。でもこのDNAは継承すべきと言われた。

国調ビッグデータから、高層マンションが増える地域と、周辺インナーシティの格差の広がり分析。周辺の人口減少、地価低位水準、低所得者吸収。福祉マグネットまでは言えない？

感じていたが、環状線内外格差はもともとあったが、橋下市長の御堂筋や市内中心部の容積率緩政策が高層マンション建設に拍車—格差拡大。待機児童問題は起こる必然があった。

維新は、民泊の規制も消極的、松井吉村が不動産業界寄りの緩和策、業界寄りの政策に偏っている事に維新議員が気付いていない。

水内先生、多様なハウジングで多様な人を受け入れる、都市の包容力の提案は、大阪に必要な視点！

